

キャラクター名 アーリー	プレイヤー名
-----------------	--------

種族	種族特徴
生まれ	性別 女 年齢 54
冒険者Lv	13 空腹のあまり失神したことがある
経験点	6390 才能を絶賛されたことがある 自慢できる二つ名を持っている (いた)

能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
器用度	1	15		30	5	フェンサー	13	アルケミスト	2
敏捷度	15	14		43	7	プリースト/ル=ロウド	2		
筋力	6	9		25	4	フェアリーティマー	3		
生命力	8	8		26	4	マジテック	2		
知力	9	3		12 + 6	3	スカウト	9		
精神力	9	5		14 + 6	3	エンハンサー	7		

戦闘特技	
トレジャーハント	2120p
ファストアクション	2123p
影走り	2120p
武器習熟A/投擲	1B31p
精密射撃	1B30p
両手利き	1B32p
命中強化	1B32p
武器習熟S/投擲	1B31p
武器の達人	1B31p
防具習熟A/非金属鎧	1B31p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドレイク語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○
妖精語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
ガゼルフット	
マッスルベアー	
ラビットイヤー	
ケンタウロスレッグ	
デーモンフィンガー	
ジャイアントアーム	
パラライズミスト	
ヴォーパルウェポン	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	13	18	20	17
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点			
鎧	アラミドコート		5	1	2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					1
回避技能	フェンサー	合計値	21	4	

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イヴェルシオA	1H投	8	-1	2d+ 19	8	17	43										
イヴェルシオB	1H投	8	-1	2d+ 19	8	20	43										
リッパーナイフ	1H投	8		2d+ 20	8	17	8										
リッパーナイフ	1H投	8		2d+ 20	8	20	8										
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	43 m	129 m

回避	防護点
2d+ 21	4

HP
67

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	2	5			
妖精魔法	3	6			
魔動機術	2	5			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/X	2d+ 16

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 17	2d+ 16

MP
43

装備品	説明
頭 宝石ケース	2ランク水氷、風、光、闇の宝石をセット
耳 数多の地獄耳飾り	聞き耳判定に+穢れ点 (2)
顔 聖印	ル=ロウド聖印
首 背水のネックレス	3ランクの魔器用度、敏速、筋力を+12する代わりに効果終了後翌日朝まで能力を-1する
背中 そよ吹きマント	射撃攻撃に対して回避+1
右手 マグネットグローブ	イヴェルシオAを登録
腰 多機能ブラックベルト	
足 粘着靴	天井や壁に張り付けるようになる
その他ポーションインジェクター	デクスタリイポーションを封入

装備品	説明
マジスフィア (小)	OP.ターゲットトサイト
マグネットグローブ	イヴェルシオBを登録
アルケミーキット	

その他メモ	自動失敗 チェック
クレセントテールデータ参照 https://trpgsession.click/character-detail.php?c=155075677523koakoa69&s=koakoa69 尚、当卓のインフレ具合により当初のデータより上方修正がかかっているものとする 北の遠方、レーゼルドーンでフイフイ言わせていたクレセントテールの一人 幼いころオを見出された彼女は一族から英才教育を受け一族の英雄としてレーゼルドーンで動いていた。 人族に紛れた彼女はある時は情報を他方の蛮族に持ち寄り、ある時は人知れず人族の重鎮の首を狩り、隠密種族としての名を馳せていた。 そんな彼女の転機は人族の情報で流れた【ニンジャ】の存在を知った事だった、心を刃に変え主に尽くす隠密集団。それはまさに彼女が受けた教育で生まれたクレセントテールの英雄の姿であった。 彼女は決意した【ニンジャ】になろう、そして【ニンジャ】の一族を広めよう、そうすれば今度こそ滅びの危機に瀕することは無いと。 40年以上にわたるレーゼルドーンの蛮族達から名声の放棄、彼女にとって決意はそれを決断する程に硬かった。 だが道のりは困難だった。蛮族の名声はそのまます人族からの脅威であり、細心の注意を払った彼女の強行軍は常に人族の精鋭に追われていた	□□□□⑤ □□□□⑩ □□□□⑱ □□□□㉑ □□□□㉕ □□□□㉙ □□□□㉚

